

工事名：R5企総管 阿南工業用水道 第2地下水送水設備計装設備補修工事

法令及び規格

1 諸法令の遵守

受注者は、本工事の施工にあたり、次に掲げる関係法令及び工事に関する諸法令を遵守するものとし、その運営及び適用は、受注者の負担と責任において行うものとする。

- イ 電気設備技術基準
- ロ その他関係法令等

2 適用規格

本工事における設計及び製作並びに材料等の品質規格は、設計書に定めるもののほか、次に掲げる規格に適合したものとする。ただし、監督員が特に認めた場合はこの限りではない。

- イ 日本産業規格（JIS）
- ロ 電気学会電気規格調査会標準規格（JEC）
- ハ 日本電線工業会規格（JCS）
- ニ 日本電機工業会規格（JEM）

ただし、交流の相色別及び盤内配線の電線被覆の色別については、旧規格を使用する。

- ホ その他関係規格、基準等

書類関係

1 図書の承諾

受注者は、次に掲げる図書を指定期日までに提出し、機器の設計・製作及び検査を実施する前に監督員の承諾を得なければならない。

- | | | |
|--------------------------------|-------------|------|
| イ 図面類
（外形図、組立図、展開接続図及び施工図等） | 設計完了後速やかに | 1部 |
| ロ 納入機器及び材料の仕様 | 〃 | 1部 |
| ハ 検査及び試験要領書 | 検査予定15日前までに | 1部 |
| ニ その他監督員が指示する図書 | | 必要部数 |

2 提出書類

受注者は、「徳島県電子納品運用ガイドライン【土木工事編】」に基づいて作成した成果品（正・副2部）を提出する。また、次に掲げる図書については電子データによる納品を基本とするほか、紙媒体により指定期日までに指定部数を提出しなければならない。

- | | | |
|--|----------------|----|
| イ 工事打合せ議事録（電子メール等を活用しない場合） | 打合せ後7日以内 | 1部 |
| ロ 据付記録 | 実施後3日以内 | 1部 |
| ハ 検査及び試験記録 | 実施後7日以内 | 1部 |
| ニ 工事写真（代表写真） | 工事しゅん工検査請求日までに | 2部 |
| ホ 完成図書
（イ）完成図面（外形図、組立図、展開接続図及び施工図等）
（ロ）納入機器仕様書
（ハ）材料仕様書 | 〃 | 2部 |

工事名：R5企総管 阿南工業用水道 第2地下水送水設備計装設備補修工事

- (二) 据付記録
- (ホ) 検査及び試験記録
- (へ) 取扱説明書

なお、完成図書のスタイルは、監督員の指示による。

へ その他監督員が指示する図書

必要部数

設計及び製作

1 一般事項

- イ 機器は使用条件を満足し、かつ、既設備と十分に協調のとれたものとするとともに、保守が容易で耐久性に優れた信頼性の高いものでなければならない。
- ロ 製作完了後、工場内で諸試験を行い、不適当な箇所が発見された場合は、直ちに修正又は取替を行い、支障のないことを十分確かめなければならない。
- ハ 各機器の製作にあたっては、耐震性を考慮しなければならない。
- ニ 各機器は地球環境を考慮し、できる限り将来リサイクル可能な材料を選定するとともに、設計においては十分配慮しなければならない。
- ホ 本説明書に記載なき事項についても、設備の機能上具備すべきものについては、当然これを充足するものとする。

2 機器の仕様

各機器は、次の仕様を満足するものとする。

イ 共通事項

- (イ) 各機器は、個々に特性試験を実施し、合格したものでなければならない。
- (ロ) 各機器は、品名、型式、製造年月日及び製造者名等を銘板にて表示しなければならない。
- (ハ) 各機器の固定金具及び保守用品等附属品は、別途明示するもののほかは機器に含むものとする。
- (ニ) 各機器は、原則として、既設備を無加工にて取付できる機器を選定すること。なお、取付のため加工等が必要となった場合においては、設計変更の対象としない。
- (ホ) 機器間を接続する電源線及び通信線の接続ルートは、既設流用を基本とする。ただし、機器の制約や信頼性及び機能性向上のために必要がある場合は、この限りでない。
- (へ) 本説明書に記載なき仕様については、既設機器の同等以上の性能を有しているものとする。

ロ 機器の仕様

(イ) ペーパーレス記録計

- a 定格電源電圧 AC100～240V
- b 入力モジュール アナログ入力 20ch程度
接続端子：M3ねじ端子
- c 画面構成 表示器：5.7型TFTカラーLCD(640×480ドット)

現場説明書

特記事項3

工事名：R5企総管 阿南工業用水道 第2地下水送水設備計装設備補修工事

- タッチパネル：4線抵抗膜式，2点タッチパネル
- d 取付方法 パネル埋込み取付
- e 質量 2.1kg程度（モジュールを含まない）
- f 外形寸法 幅144×高さ144×奥行225mm程度
- g 数量 2台
- (ロ) リモート I/O（アナログ入力16点）
- a 供給電源 AC100～240V
- b 通信仕様
- (a) 伝送速度 38.4kbps程度
- (b) 通信方式 半二重非同期式無手順
- (c) 制御手順 Modbus-RTU
- c 入力仕様
- (a) 入力信号 熱電対・直流入力 16点
- (b) 測定レンジ $\pm 20V$ ， $\pm 5V$ ， $\pm 1V$ ， $\pm 0.8V$ ， $\pm 0.2V$ ， $\pm 50mV$ ， $\pm 10mV$
- (c) 熱電対の種類 PR，K，E，J，T，B，R，S，C，N，U，L，P
- (d) サンプリング周期 100ms程度／16点
- (e) 接続端子 M3ねじ端子
- d 消費電力 10VA程度
- e 使用温度範囲 $-5\sim+60^{\circ}C$ 程度
- f 取付方法 DINレール取付
- g 質量 400g程度
- h 外形寸法 幅175×高さ40×奥行115mm程度
- i 数量 2台
- (ハ) リモート I/O（接点入力32点）
- a 供給電源 AC100～240V
- b 通信仕様
- (a) 伝送速度 38.4kbps程度
- (b) 通信方式 半二重非同期式無手順
- (c) 制御手順 Modbus-RTU
- c 入力仕様
- (a) 入力信号 無電圧スイッチ 32点
- (b) 検出電圧 DC5V程度
- (c) サンプリング周期 50ms程度
- (d) 接続端子 M3ねじ端子
- d 消費電力 10VA程度
- e 使用温度範囲 $-5\sim+60^{\circ}C$ 程度
- f 取付方法 DINレール取付
- g 質量 400g程度
- h 外形寸法 幅175×高さ40×奥行115mm程度
- i 数量 1台

現場説明書

特記事項4

工事名: R5企総管 阿南工業用水道 第2地下水送水設備計装設備補修工事

(二) リモート I / O (接点出力32点)

- a 供給電源 AC100~240V
- b 通信仕様
 - (a) 伝送速度 38.4kbps程度
 - (b) 通信方式 半二重非同期式無手順
 - (c) 制御手順 Modbus-RTU
- c 出力仕様
 - (a) 出力信号 オープンコレクタ 32点
 - (b) 出力定格 DC24V, 50mA程度
 - (c) サンプルング周期 50ms程度
 - (d) 接続端子 M3ねじ端子
- d 消費電力 10VA程度
- e 使用温度範囲 -5~+60°C程度
- f 取付方法 DINレール取付
- g 質量 400g程度
- h 外形寸法 幅175×高さ40×奥行115mm程度
- i 数量 1台

(ホ) ディストリビュータ

- a 供給電源 AC100~240V
- b 構造 薄形プラグイン構造
- c 出力仕様
 - (a) 第1出力信号 DC1~5V程度 (負荷抵抗5000Ω以上)
 - (b) 第2出力信号 DC1~5V程度 (負荷抵抗5000Ω以上)
 - (c) 接続端子 M3ねじ端子
- d 消費電力 5VA程度 (AC100Vのとき)
- e 使用温度範囲 -5~+55°C程度
- f 取付方法 DINレール取付
- g 質量 200g程度
- h 外形寸法 幅29.5×高さ88.5×奥行124mm程度
- i 数量 19個

(ヘ) アイソレータ (出力: DC1~5V程度)

- a 供給電源 AC85~264V
- b 構造 薄形プラグイン構造
- c 出力仕様
 - (a) 第1出力信号 DC1~5V程度 (負荷抵抗5000Ω以上)
 - (b) 第2出力信号 DC1~5V程度 (負荷抵抗5000Ω以上)
 - (c) 接続端子 M3ねじ端子
- d 入力仕様
 - (a) 入力信号 DC4~20mA程度 (入力抵抗250Ω)
 - (b) 接続端子 M3ねじ端子

現場説明書

特記事項5

工事名：R5企総管 阿南工業用水道 第2地下水送水設備計装設備補修工事

- e 消費電力 4VA程度 (AC100Vのとき)
 - f 使用温度範囲 -5~+55℃程度
 - g 取付方法 DINレール取付
 - h 質量 200g程度
 - i 外形寸法 幅29.5×高さ88.5×奥行124mm程度
 - j 数量 1個
- (ト) アイソレータ (出力：DC4~20mA程度)
- a 供給電源 AC85~264V
 - b 構造 薄形プラグイン構造
 - c 出力仕様
 - (a) 第1出力信号 DC4~20mA程度 (負荷抵750Ω以下)
 - (b) 第2出力信号 DC4~20mA程度 (負荷抵350Ω以下)
 - (c) 接続端子 M3ねじ端子
 - d 入力仕様
 - (a) 入力信号 DC4~20mA程度 (入力抵抗250Ω)
 - (b) 接続端子 M3ねじ端子
 - e 消費電力 4VA程度 (AC100Vのとき)
 - f 使用温度範囲 -5~+55℃程度
 - g 取付方法 DINレール取付
 - h 質量 200g程度
 - i 外形寸法 幅29.5×高さ88.5×奥行124mm程度
 - j 数量 1個
- (チ) 電源用避雷器
- a 使用電源電圧 AC100V/110V/120V
 - b 接続端子 M3.5ねじ端子
 - c 構造 プラグイン構造
 - d 最大負荷電流 5A程度
 - e 使用温度範囲 -5~+55℃程度
 - f 取付方法 DINレール取付
 - g 質量 500g程度
 - h 外形寸法 幅50×高さ80×奥行123mm程度
 - i 数量 1個
- (リ) 電子機器用避雷器
- a 接続端子 M4ねじ端子
 - b 構造 プラグイン構造
 - c 使用温度範囲 -5~+55℃程度
 - d 取付方法 DINレール取付
 - e 質量 175g程度
 - f 外形寸法 幅23.5×高さ100×奥行81mm程度
 - g 数量 25個

現場説明書

特記事項6

工事名：R5企総管 阿南工業用水道 第2地下水送水設備計装設備補修工事

(ヌ) 警報設定器

a 供給電源	AC100～240V, 50～60Hz
b 接続方式	M3.5ねじ端子接続
c 構造	プラグイン構造
d 出力信号	4点警報リレーa接点
e 入力信号	
電圧入力範囲	DC-10～+10V程度 (入力抵抗1MΩ以上)
f 使用温度範囲	-5～+55℃程度
g 取付方法	DINレール取付
h 質量	500g程度
i 外形寸法	幅50×高さ80×奥行132mm程度
j 数量	2台

(ル) フロートレスリレー

a 使用条件	一般の浄水, 汚水
b ピン数	11ピン
c 定格電圧	AC100V/200V, 50/60Hz
d 出力	AC250V, 3A程度
e 消費電力	3.5VA程度
f 応答時間	動作時80ms以下, 復帰時160ms以下
g 使用温度範囲	-10～+55℃程度
h 質量	155g程度
i 外形寸法	幅38×高さ49.4×奥行84mm程度
j 数量	16台

(ヲ) パルスカウンタ

a 供給電源	AC100V/120V, 50/60Hz
b 入力仕様	
(a) 入力信号	ON-OFFパルス
(b) 計数入力	無電圧接点またはオープンコレクタ H=9～12V, L=0～6V
c 消費電力	2.5VA程度
d 使用温度範囲	0～+50℃程度
e 取付方法	パネル取付
f 質量	300g程度
g 外形寸法	幅96×高さ48×奥行100mm程度
h 数量	13台

(ワ) 投込式水位計 (測定水位: 0～10m程度)

a 測定液体	上水または上水相当の水
b 計測方式	半導体圧力センサー方式
c 信号形態	2線式
d 電源電圧	DC17～28V程度

現場説明書

特記事項7

工事名：R5企総管 阿南工業用水道 第2地下水送水設備計装設備補修工事

- | | | |
|---|-----------|-------------------|
| e | 出力信号 | DC4～20mA程度 |
| f | 精度 | ±0.3%F. S. (25℃時) |
| g | 使用温度範囲 | 0～+30℃程度 |
| h | 測定水位 | 0～10m程度 |
| i | 使用ケーブル長 | 10m程度 |
| j | 材質 | |
| | (a) 本体ケース | SUS316L相当 |
| | (b) ケーブル | EPゴムシース相当 |
| k | 質量 | |
| | (a) 本体 | 100g程度 |
| | (b) ケーブル | 90g/m程度 |
| l | 数量 | 1台 |
- (カ) 投込式水位計 (測定水位：0～20m程度)
- | | | |
|---|-----------|-------------------|
| a | 測定液体 | 上水または上水相当の水 |
| b | 計測方式 | 半導体圧力センサー方式 |
| c | 信号形態 | 2線式 |
| d | 電源電圧 | DC17～28V程度 |
| e | 出力信号 | DC4～20mA程度 |
| f | 精度 | ±0.3%F. S. (25℃時) |
| g | 使用温度範囲 | 0～+30℃程度 |
| h | 測定水位 | 0～20m程度 |
| i | 使用ケーブル長 | 30m程度 |
| j | 材質 | |
| | (a) 本体ケース | SUS316L相当 |
| | (b) ケーブル | EPゴムシース相当 |
| k | 質量 | |
| | (a) 本体 | 100g程度 |
| | (b) ケーブル | 90g/m程度 |
| l | 数量 | 2台 |
- (コ) 投込式水位計 (測定水位：0～50m程度)
- | | | |
|---|---------|-------------------|
| a | 測定液体 | 上水または上水相当の水 |
| b | 計測方式 | 半導体圧力センサー方式 |
| c | 信号形態 | 2線式 |
| d | 電源電圧 | DC17～28V程度 |
| e | 出力信号 | DC4～20mA程度 |
| f | 精度 | ±0.3%F. S. (25℃時) |
| g | 使用温度範囲 | 0～+30℃程度 |
| h | 測定水位 | 0～50m程度 |
| i | 使用ケーブル長 | 35m程度 |
| j | 材質 | |

現場説明書

特記事項8

工事名：R5企総管 阿南工業用水道 第2地下水送水設備計装設備補修工事

(a) 本体ケース	SUS316L相当
(b) ケーブル	EPゴムシース相当
k 質量	
(a) 本体	100g程度
(b) ケーブル	90g/m程度
l 数量	2台
(タ) ポータブル水質計	
a 測定項目	pH, 温度, 濁度, 電気伝導率, 塩分
b 測定方式	
(a) pH	ガラス電極法
(b) 温度	サーミスタ抵抗体式
(c) 濁度	90度散乱光方式
(d) 電気伝導率	交流4電極法
(e) 塩分	電気伝導率からの換算
c 測定範囲	
(a) pH	pH0.00～pH14.00
(b) 温度	0.0～50.0℃
(c) 濁度	0.0～80.0 NTU(mg/L) / 0～800 NTU(mg/L)
(d) 電気伝導率	0.0mS/m～10.00S/m
(e) 塩分	0.00～4.00% (NaCl) / 0.00～40.00 (PSS)
d 電源	単3形アルカリ乾電池 2本程度
e 防水構造	IP67程度
f 質量	
(a) 本体	290g程度
(b) センサモジュール	1400g程度 (ケーブル長2mのとき)
g 外形寸法	
(a) 本体	幅68×高さ35×奥行173mm程度
(b) センサモジュール	φ55×476mm程度
h 数量	1台

現場工事

1 一般事項

- イ 受注者は、本工事の現場作業の着手に際し、あらかじめ作業手順及び施工方法等について監督員と協議を行わなければならない。
- ロ 受注者は、現場工事の施工に際し、必要資格を有する専門技術員を配置するものとする。また、本工事に関して十分な経験を有する技術員が適用規程等を遵守のうえ施工し、工事対象外設備の運用に支障を及ぼすことのないよう留意しなければならない。
- ハ 現場工事に必要な測定及び調査は、すべて受注者の責任において行い、その不良による手戻りを生じた場合は、受注者の負担により解決しなければならない。

工事名：R5企総管 阿南工業用水道 第2地下水送水設備計装設備補修工事

- ニ 発注者の設備機器の運転、停止及び開閉操作等は監督員が行うものとする。ただし、監督員の許可を得た場合はこの限りでない。
- ホ 本工事中に受注者は、作業の安全性確保のため、表示板、安全区画等の対策を講じなければならない。
- ヘ 本工事中に受注者は、既設建造物及び諸設備に損傷を与えないように留意しなければならない。万一損傷を与えた場合は、監督員の指示に従い受注者の責任と負担において、原形復旧を行わなければならない。
- ト 受注者は、工事終了後、速やかに工事現場の整理、整頓を行わなければならない。
- チ 撤去品については、監督員が指示する場所に集めておくものとする。
- リ 工事対象設備は、那賀川の渇水期に安定した工業用水の供給を目的として運用されるものである。したがって、地下水送水設備の運用中は施工してはならない。

2 現場工事詳細

現場工事の詳細は、次に掲げるとおりとする。

イ 機器の取替

(イ) 次に掲げる既設機器を新設機器へ取り替える。なお、機器間を接続する電源線及び通信線は、既設を流用するものとする。ただし、機器の制約や信頼性及び機能性向上のために必要がある場合は、この限りでない

- a ペーパーレス記録計 2台
 - (a) 型式 PHR 21B14-N10YY
 - (b) メーカー 富士電機株式会社
 - (c) 設置箇所 計装監視盤
- b リモート I/O (アナログ入力16点) 2台
 - (a) 型式 R1M-GH2T-M2
 - (b) メーカー 株式会社エム・システム技研
 - (c) 設置箇所 計装監視盤
- c リモート I/O (接点入力32点) 1台
 - (a) 型式 R1M-A1T-M2
 - (b) メーカー 株式会社エム・システム技研
 - (c) 設置箇所 計装監視盤
- d リモート I/O (接点出力32点) 1台
 - (a) 型式 R1M-D1T-M2
 - (b) メーカー 株式会社エム・システム技研
 - (c) 設置箇所 計装監視盤
- e ディストリビュータ 19個
 - (a) 型式 W2DYS-2466-M2
 - (b) メーカー 株式会社エム・システム技研
 - (c) 設置箇所 計装監視盤
- f アイソレータ (出力：DC1～5V程度) 1個
 - (a) 型式 W2YV-A66-M

現場説明書

特記事項10

工事名：R5企総管 阿南工業用水道 第2地下水送水設備計装設備補修工事

- | | |
|-------------------------|-----------------------------------|
| (b) メーカー | 株式会社エム・システム技研 |
| (c) 設置箇所 | 計装監視盤 |
| g アイソレータ（出力：DC4～20mA程度） | 1個 |
| (a) 型式 | W2YV-AAA-M |
| (b) メーカー | 株式会社エム・システム技研 |
| (c) 設置箇所 | 計装監視盤 |
| h 電源用避雷器 | 1個 |
| (a) 型式 | MAA-100 |
| (b) メーカー | 株式会社エム・システム技研 |
| (c) 設置箇所 | 計装監視盤 |
| i 電子機器用避雷器 | 25個 |
| (a) 型式 | MDPA-24 |
| (b) メーカー | 株式会社エム・システム技研 |
| (c) 設置箇所 | 計装監視盤 20個
現場操作盤 4個
計器収納盤 1個 |
| j 警報設定器 | 2台 |
| (a) 型式 | AS4V-S22-M2 |
| (b) メーカー | 株式会社エム・システム技研 |
| (c) 設置箇所 | 計装監視盤 |
| k フロートレスリレー | 16台 |
| (a) 型式 | 61F-GP-N |
| (b) メーカー | オムロン株式会社 |
| (c) 設置箇所 | 計装監視盤 1台
補助継電器盤 15台 |
| l パルスカウンタ | 13台 |
| (a) 型式 | 460D-1-3 |
| (b) メーカー | 鶴賀電機株式会社 |
| (c) 設置箇所 | 現場操作盤 |
| m 投込式水位計（測定水位：0～10m程度） | 1台 |
| (a) 型式 | LP008型 |
| (b) メーカー | 愛知時計電機株式会社 |
| (c) 測定水位 | 0～4m程度 |
| (d) ケーブル長 | 10m程度 |
| (e) 設置箇所 | 計器収納盤 |
| n 投込式水位計（測定水位：0～20m程度） | 2台 |
| (a) 型式 | LP008型 |
| (b) メーカー | 愛知時計電機株式会社 |
| (c) 測定水位 | 0～20m程度 |
| (d) ケーブル長 | 30m程度 |

工事名：R5企総管 阿南工業用水道 第2地下水送水設備計装設備補修工事

- (e) 設置箇所 11号, 13号現場操作盤
- o 投込式水位計（測定水位：0～50m程度）2台
 - (a) 型式 LP008型
 - (b) メーカー 愛知時計電機株式会社
 - (c) 測定水位 0～40m程度
 - (d) ケーブル長 35m程度
 - (e) 設置箇所 4号, 8号現場操作盤
- p ポータブル水質計 1台
 - (a) 型式 WQC-22A
 - (b) メーカー 東亜ディーケーケー株式会社
 - (c) 設置箇所 計器収納盤

(ロ) 取替後に単体調整及び組合わせ試験を行うこと。なお、単体調整は、校正を含むものとする。

検査及び試験

1 現場立会検査及び試験

現場立会検査及び試験は、次に掲げる項目について行うものとする。なお、その結果、不合格と判断されたものについては、速やかに改善又は補充し、再検査等を受けなければならない。

イ 検査及び試験内容

- (イ) 員数検査
- (ロ) 単体試験
- (ハ) 総合動作試験
故障通報試験, ループテストを含むこと。

ロ その他監督員の指示する項目

工事名: R5企総管 阿南工業用水道 第2地下水送水設備計装設備補修工事

工 程

1 他工事等との調整 (対象 無)

2 施工の制限(対象 有)

工事対象設備は、那賀川の渇水期に安定した工業用水の供給を目的として運用されるものである。したがって、地下水送水設備の運用中は施工してはならない。

3 作業時間帯(対象 無)

4 工事履行報告書(対象 無)

5 その他(対象 無)

用地 関係

1 ブロック製作ヤード(対象 無)

2 仮置ブロック(対象 無)

支 障 物 件

受注者は、工事着手前に必ず工事施工箇所の支障物件について確認し、監督員に「支障物件確認書(現場着手時)」を提出し、監督員の確認を受けた後、工事に着手すること。

1 支障物件の事前調査(対象 無)

2 支障物件の撤去(対象 無)

3 立木の置き場所(対象 無)

4 その他(対象 無)

公 害 対 策

1 事業損失防止対策(対象 無)

2 濁水処理(対象 無)

3 低騒音型・低振動型建設機械(対象 無)

4 六価クロム溶出試験(対象 無)

安 全 対 策

1 交通安全施設等(対象 無)

2 交通誘導警備員(対象 無)

3 足場通路等からの墜落防止措置(対象 無)

建 設 副 産 物

工事名: R5企総管 阿南工業用水道 第2地下水送水設備計装設備補修工事

1 建設発生土の利用(対象 無)

2 建設発生土の搬出(対象 無)

3 再生利用のための建設副産物の搬出(対象 有)

1 受注者は、本工事の施工により発生する次の建設副産物について、再資源化を行うため産業廃棄物中間処理許可施設(再資源化施設)へ搬出すること。また、搬出に際しては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守しなければならない。

2 受注者は、建設副産物の搬出前に受入場所・条件等について、監督員と協議するものとする。

3 自己処理を希望する場合は、監督員と協議するものとする。

4 受入先との協議の結果、再資源化が困難である場合は、監督員と協議するものとする。

	コンクリート塊	アスファルト塊	木材	汚泥	その他
対象物					廃プラスチック

4 最終処分のための建設副産物の搬出(対象 無)

5 建設汚泥の自工事現場内における再生利用(対象 無)

6 建設汚泥の中間処理方法等(対象 無)

7 建設汚泥処理土の利用(対象 無)

8 建設汚泥処理土の搬出(対象 無)

9 剥ぎ取り表土の利用(対象 無)

10 一般廃棄物の搬出(対象 無)

11 根株等の利用(対象 無)

12 根株処理工の出来高の算出(対象 無)

工 事 用 道 路

1 工事用道路等の補修(対象 無)

仮 設 備

1 床掘(対象 無)

2 鋼矢板等の打込引抜工法(対象 無)

3 仮設防護柵工(対象 無)

4 仮締切り(土留)(対象 無)

5 鋼矢板二重締切(対象 無)

6 水替施設(対象 無)

7 異常出水の処置(対象 無)

そ の 他

工事名: R5企総管 阿南工業用水道 第2地下水送水設備計装設備補修工事

1 図面の電子納品(対象 無)

2 標準断面図板設置の省略(対象 有)

本工事は、標準断面図板の設置を省略する。

3 しゅん工標設置の省略(対象 有)

本工事は、しゅん工標の設置を省略する。

4 施工計画書(対象 無)

※受注者は、当該項目の対象の有無に関わらず、当初請負対象金額が5,000万円以上の工事及び低入札価格調査制度の低入札価格調査基準価格を下まわって落札した工事(低入札工事)においては、施工計画書を監督員に提出しなければならない。

5 同一の場所において施工する工事同士の現場代理人の兼務(対象 無)

※現場代理人の兼務については、同一の場所において施工する工事同士の兼務のほか、仕様書に記載された要件を全て満たす場合についても兼務を認めている。

6 三者会議※(対象 無)

ただし、主任技術者の専任が必要な工事で、主任技術者が2つの工事を兼務(兼務届を提出する場合)し、かつ次の①～④のいずれかに該当する工事は、三者会議(三者以上の会議を含む)を実施する。

- ①橋梁、トンネル、樋門等の重要構造物工事を含む工事
- ②現場条件が特殊である工事
- ③施工に要する技術が新規又は高度である工事
- ④その他、設計時の設計意図を詳細に伝達する必要がある工事

三者会議の開催は、工事着手前に実施し、施工条件の変更等の問題が生じた場合には必要に応じ、監督員と協議を行って、複数回開催することができる。

※「三者会議」とは、発注者と受注者と設計者の三者が一堂に会することにより、設計者の意図や施工上の留意点を受注者に的確に伝え、設計図書と現場との整合性を確認協議することにより、工事施工の円滑化と品質の確保を図ることを目的とし実施する。

なお、基礎杭や大規模仮設等専門性の高い工種を伴う工事では、施工者に専門工事業者(下請)の主任技術者を加え会議を実施する。

また、地質構造の複雑な箇所、地形の変化が大きい箇所等、特に地質情報の不確実性が高い現場における工事や地質技術者が参画することで当該工事の品質確保が図られると認められる工事では、地質技術者を参加させ会議を実施する。

7 コンクリートの単位水量の測定(対象 無)

8 セメント・モルタル吹付(対象 無)

9 水抜孔(対象 無)

10 種子吹付(対象 無)

11 植栽樹木の植え替え義務(対象 無)

12 使用材料の品質、規格、性能等(対象 無)

13 LED道路・トンネル照明灯の品質、規格、性能等(対象 無)

14 使用材料の品質規格等(製品名表示)(対象 無)

15 県産木材の使用(県産木製型枠以外)(対象 無)

16 新技術の活用について(対象 無)

17 アスファルト舗装工事(施工途中の交通開放)(対象 無)

18 橋梁修繕工事(伸縮装置取替)(対象 無)

工事名: R5企総管 阿南工業用水道 第2地下水送水設備計装設備補修工事

19 各種様式

各種様式については、下記徳島県ホームページよりダウンロードすること。

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/2009091500237>